

2018年（平成30年）5月 支部だより

草津川の土手に咲く、燃え上がるような満開の桜も、あっという間に終わり、今は日毎にみどりを濃くし、葉が勢いをつけています。ここ草津市は、人口13万余の都市で、数少ない人口増加都市です。近くに、立命館や竜谷大学があり、周辺の企業に働く外国人も多く、若い人たちが多く活気に満ち溢れています。

親鴨会野洲支部役員の会議や、総会、新年会など、草津で開催し、街の賑やかさと、便利さを享受しています。

少々、高いところに上がれば、比叡山を中心にした山並みと、青く光り輝く琵琶湖の湖面が望めます。

この恵まれた環境のもとで、親鴨会の活動を一層活発にしなければと念じるばかりです。

（JR草津駅は、野洲工場のあった野洲駅より3駅京都寄り、県庁所在地の大津駅へは、約10分、京都駅へは、約20分のところです。）